第１４３号　令和元年１２月１日

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者　桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

１１月の定例会。

７日 (木) はメンバー１６名、８日 (金) はメンバー１６名＋体験ゲスト１名が参加して、行われました。

１．白身魚の紙包み焼き（今回は「鱈」でした）
２．鶏手羽先と大根のスープ煮
３．クラムチャウダー（マンハッタン風）
４、ジャガイモのおやき

体験ゲストとして参加された永井清さんが直後に入会されました。おとこの台所・桜新町の最年長メンバーですが、心身ともにお元気です。

イタリア、ヴィンチ村のイケメン大天才・レオナルド。

今年は、レオナルド・ダ・ヴィンチの没後４５０年でした。
フルネームはレオナルド・ディ・セル・ピエーロ・ダ・ヴィンチ（Leonardo di ser Piero da Vinci）。
長いお名前ですね。覚えられない。
父はフィレンツェの裕福な公証人フルオジーノ・ダ・ヴィンチ、母はカテリーナ（おそらく農夫の娘）の非嫡出子として産まれました。
絵画、音楽、建築、数学、幾何学、解剖学、生理学、動植物学、天文学、気象学、地質学、地理学、光学、力学、土木工学など様々な分野に顕著な業績と手稿を残した、容貌も大変に優れた村一番の「モテモテ」のイケメンであったといいます。
ヘリコプターや戦車の概念化、太陽エネルギーや計算機の理論、二重船殻構造の研究、さらには初歩のプレートテクトニクス理論（日本を囲むユーラシアプレート、北米プレート、太平洋プレート、フィリピンプレートのあの地球のマントル「プレート」のことです）を理解していました。
レオナルドが構想、設計したこれらの科学技術のうち、レオナルドの存命中に実行に移されたものは僅かでした。
彼の発想力に、当時の科学や技術力が、全く追い付いていなかったということです。
絵画では、最も有名な名画「モナ・リザ」、「最後の晩餐」。残っている作品は１５点ほど。
ダ・ヴィンチのデッサンの直線は左上から右下に引かれているので「左利き」だったのでは、と言われています。

これからの予定

１２月　５日（木）	定例会
１２月１３日（金）	定例会
１月１０日（金）	定例会